

北海道浮魚ニュース

平成 26 (2014) 年度 14 号

2014 年 8 月 29 日

道総研 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎スルメイカ漁場一斉調査結果 (道南太平洋海域)

道南太平洋の 8 月下旬のスルメイカ平均 CPUE は昨年を上回った。外套長のモードは昨年及び過去 5 年平均と同じ 21cm にあった。

8 月 18 日から 22 日にかけて、浦河沖から下北半島東沖にかけての道南太平洋、及び函館沖で函館水試調査船金星丸 (151 トン、イカ釣機 5 台、集魚灯 20 灯装備) により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

1. 水温分布 (図 1、2)

漁獲調査点 4 地点の表面水温は 19.6 ~ 21.2 °C (昨年 23.6 ~ 24.7 °C)、水深 50m の水温は 11.8 ~ 16.1 °C (昨年 13.6 ~ 21.2 °C) の範囲にあり、ともに全ての調査点で昨年を下回りました。水深 50m 層の水温分布は全体的に昨年より 1 ~ 2 °C ほど低くなっていました。

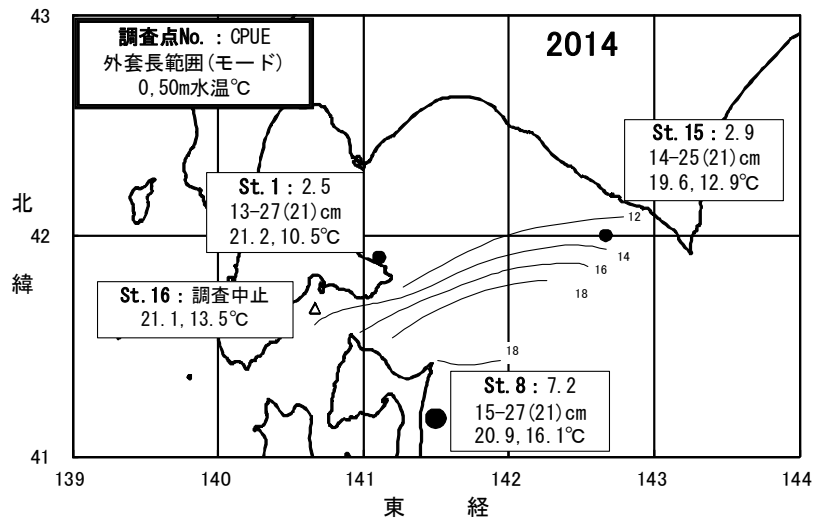


図 1 2014 年度の漁獲調査結果と水温 (8 月 18 ~ 22 日)。●は漁獲調査点を示し大きさは CPUE に比例。△は漁獲調査中止。等温線は 50m 水深の水温分布

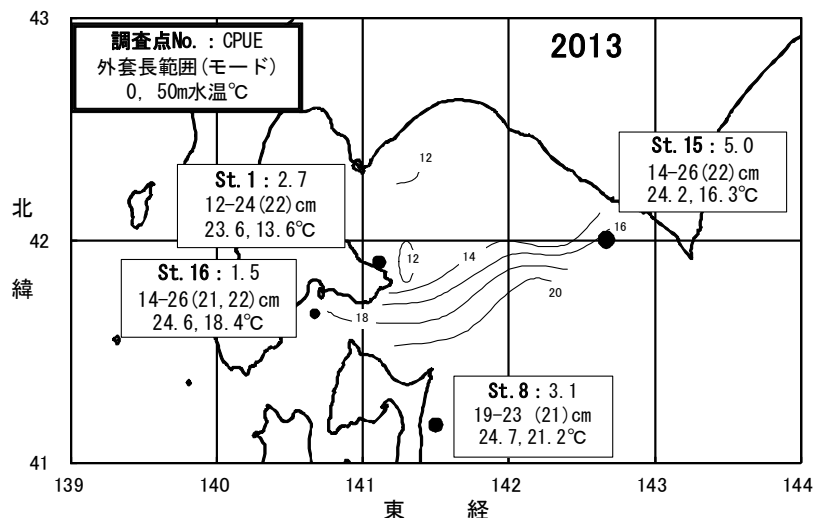


図 2 2013 年度の漁獲調査結果と水温 (8 月 21 ~ 24 日)。●は漁獲調査点を示し大きさは CPUE に比例。等温線は 50m 水深の水温分布

表1 スルメイカ漁場一斉調査（道南太平洋8月）のCPUEと外套長の経年変化。2010～2013年のSt.1～15は釧路水試調査船北辰丸により実施。

	2009(H21) 8/17-8/20	2010(H22) 8/19-8/25	2011(H23) 8/17-8/26	2012(H24) 8/21-8/24	2013(H25) 8/21-8/24	2014(H26) 8/18-8/22
St.1(木直沖)CPUE	10.3	0.4	5.2	3.0	2.7	2.5
St.8(下北半島東沖)CPUE	7.8	0.2	1.7	0.8	3.1	7.2
St.15(浦河沖)CPUE	91.3	1.1	1.0	8.0	5.0	2.9
St.16(函館沖)CPUE	-	3.1	2.1	7.4	1.5	-
平均CPUE(尾/(台・時))	36.5	1.2	2.5	4.8	3.1	4.2
外套長の範囲(cm)	9-26	12-26	10-26	12-25	12-26	13-27
外套長モードの範囲(cm)	20-22	18-22	19-22	20-22	21-22	21

2. 分布密度

漁獲調査点4地点のうち調査を実施した3地点のCPUE（2連式イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）の平均は4.2で、昨年（2013年）の全4地点及び同じ調査点3地点の平均（それぞれ3.1、3.6）を共に上回りましたが、値としては2010年以降の低い水準に止まりました。最も分布密度が高かった調査点は下北半島東沖St.8（7.2）でした（図1、表1）。

3. スルメイカの大きさ

スルメイカの外套長は、全調査点で13～27cm（昨年12～26cm）の範囲にありました（図1、3、表1）。調査海域全体の外套長のモード（最も多く漁獲されたイカの大きさ）は昨年及び過去5年平均と同じ21cmにありましたが、昨年及び過去5年に比べ大型個体が少ない傾向がみられました。（図3）。

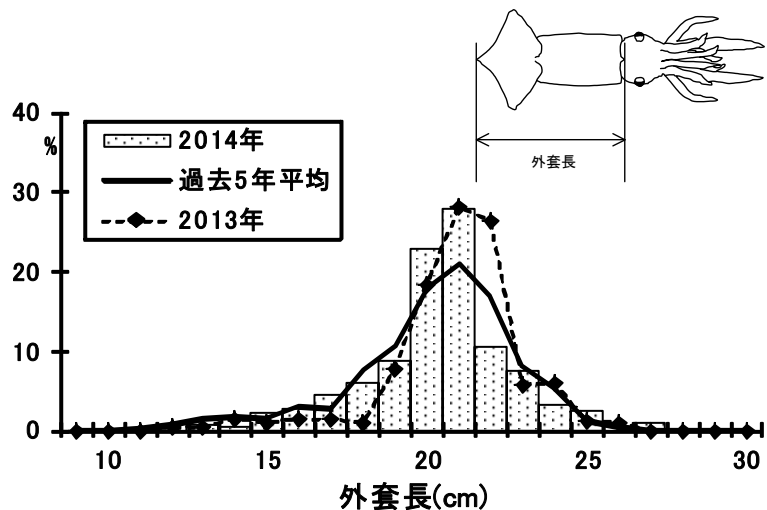


図3 海域全体の外套長組成

（函館水産試験場調査研究部 TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849）

※函館水試は6月より函館市国際水産・海洋総合研究センター（函館市弁天町 20-5）内に移転しました